

陸羯南 （りくか） 政論家。安政四年十月十四日陸奥國弘前生れ、明治四十年九月一日歿（二五七—一九〇七）。舊姓中田、本名實、字秀卿、幼名巳之太郎。別號櫻園、瑞穂舎、羯南居士、羯南逸民、羯南陳人、貫字、貫字、野史等。東奥義塾、司法省法學校等に學ぶ。太政官、内閣官報局勤務を経て、明治二十一年「東京電報」創刊。翌年日本新聞社を興じ、新聞「日本」を創刊。國民主義の場を二貫じ、明治の代表的言論人。「陸羯南全集」全十卷（昭和四十二年—六十年及び予書房）刊。著書「海峽増補蘭語言行録」（本名、編、明治二十八年七月二十一日自刊）、「山紫水明」（合著・研學會編、明治二十年五月—二十五年陸軍受勳講義録編輯所「研學叢書」）、「香雪紫雲」（合著・研學會編、明治二十二年一月五日^{研學會}蘭澤梅翁刊、修學堂發賣「寸範叢書」）、「散文巖下滴水」（合著・石橋愛人郎編、明治二十二年九月十八日大學館「名家文庫」）、「先覺詞藻」（本名、合著・進藤信義編、明治二十四年十月十一日大阪鐘美堂本店・鐘美堂支店）、「羯南文集」（畑金吉編、明治四十二年五月—二十五年時文大觀刊行會「時文大觀」）、「羯南文集」（梶井盛編、明治四十二年十一月十一日蟠龍堂）、「羯南文錄」（鈴木虎雄輯、昭和八年八月五日陸四郎刊）等。文獻、吉田義次著「國士陸羯南」（昭和十九年二月—二十日昭和刊行會）等。